

開催日時	令和 元年 9 月 6 日 (金)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
------	-------------------	-----	----------------------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生
	(補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：×白川幹 ○村松健児 ×長友寛昌 ○三輪数比古
	委員：○近藤敦司 ○矢野高 ×相原聡 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

1. 山口担当副会長より挨拶  
大和田副会長より挨拶
2. 委嘱状授与
3. 委員の自己紹介が行われた
4. 大和田副会長より、神事協機構図・定款施行細則及び瓦版 8 月号の『会長 教えて!!』を基に委員会の役割・成り立ち等の説明がされた。  
主な役割として、下記 2 点がある。また、定款施行細則に定められている活動以外も検討し、細則を変更する事も可能との話があった。
  - (1) 統括委員長会の運営（戦略企画委員長が統括委員長会の議長となる）  
今までの統括委員長会や理事会が、報告会になってしまっていた。そうではなく、委員会の横の繋がり・意見交換・内容について議論する場とする必要がある。  
→各委員会より提出された内容について、戦略企画委員会で検討し統括委員長会に上程する。  
各委員会に提言する内容を検討し、統括委員長会に提出する。（委員会の活性化につながる）
  - (2) 同好会運営専門委員会・事務所経営塾専門委員会の立ち上げ  
会員同士の繋がりを作り、退会させない組織作り。
5. 意見
 

《統括委員長会の運営について》

  - ・報告書のフォーマット（ルール作り）又は、各委員会の議事録を事前に確認してもらう。
  - ・議論する内容に優先順位をつける（決定すべき事項、先送り可能な事項等）

《会員増強について》

  - ・会員増強の為には、会に入らないと上手くいかない魅力ある会にする。
  - ・構造に詳しい・設備に詳しい等、ネットワークを作る事によって孤独解消。
  - ・仕事につなげる。
  - ・入らないと情報が入らない。
  - ・外に情報発信。
6. 委員会運営について
  - ・メーリングシステムを使い、委員で意見を出し合う。
  - ・次回、広報情報委員会より検討事項が提出される。（10/18 の統括委員長会に提出する為に検討する）
  - ・次回委員会では、統括委員会の運営方法を検討する。

次回委員会開催日程 『調整さん』に各自入力し、調整する事になった。

以上

開催日時	令和 元年 10 月 2 日 (水)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
------	--------------------	-----	----------------------

出席者 (×欠席)	担当副会長：×山口英生
	(補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○村松健児 ○長友寛昌 ○三輪数比古
	委員：×近藤敦司 ○矢野高 ○相原聡 ○佐藤眞吾
事務局：○小林恵美	

委嘱状授与 (前回欠席者)

委員自己紹介

議題

### 1. 統括委員長会の運営について

統括委員長会に議題として挙げるか、2委員会から提出された内容を検討した。

#### ①広報情報委員会より、下記の内容等を含み令和2年度の予算要求案作成を行いたいとの要望。

- ・内容を充実させる為、又支部活動報告が1年に1回は回ってくるように現14頁(記事10頁)から20頁(記事16頁)に増頁を希望する。
- ・現在会員・賛助会員・関係団体・行政に発送している1100部を増刷し、新規配布先の開拓。(新規開設者講習受講者・事務所登録窓口配布等、発送費を伴わない形での配布)
- ・積極的な寄稿者の開拓の為、記事や表紙の写真等を寄稿頂いた個人を大きく誌面で取り上げ(例えば肖像写真・事務所名・氏名・プロフィール等を明示)人脈づくりの一翼、地域での事務所の認知が進む事をアピール。
- ・賛助会員の増加、又会員に役立つ情報を掲載する為、賛助会員の最新技術の紹介等、賛助会員の記事を会報掲載希望。(宣伝を避ける事をルールとする)
- ・かわら版増頁(A4両面→A3両面)、フルカラー化

⇒統括委員長会に下記の内容を挙げる

- ・内容を充実させる為に増頁を行い、改善されてから増刷する事を検討。(令和2年度は増頁)
- ・賛助会員の寄稿は可能か検討。(宣伝を避ける事をルールとする)
- ・広告掲載は可能とするか検討。
- ・余剰分を配布する事は可能か検討。

#### ②木造専門委員会より、下記内容等の要望。

- ・前年度と同じく、3部会体制で行いたい。
- ・委員15名の選任を希望する。

⇒統括委員長会に下記の内容を挙げる

- ・木造専門委員会からの要望内容を検討。
- ・専門委員会は必ず成果を上げる委員会と位置付けられている為、勉強会等を行う同好会とする事も検討。

### 2. 戦略企画委員会への検討依頼書について

- ・検討依頼書(案)が示され、統括委員長会に提出される事となった。

《検討依頼書(案)》

戦略企画委員長宛

- 記載項目 ・委員会名・委員長名・種別(予算・追加予算・委員会活動・その他)  
・申請項目・主旨

### 3. 令和2年度予算要求案・事業計画案について

(案)を山口担当副会長と委員長で作成する事となった。

4. 今後の委員会運営について

副委員長を増員する事も検討するとの話があった。

5. その他

村松委員より神事協組織の資料が示され、内容についての説明がされた。

次回委員会開催日程 『調整さん』に各自入力し、調整する事になった。

以上

開催日時	令和 元年 11 月 25 日 (月)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
------	---------------------	-----	----------------------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：×白川幹 ○村松健児 ○長友寛昌 ×三輪数比古
	委員：○近藤敦司 ○矢野高 ○相原聡 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

山口副会長挨拶

前回議事録確認

#### 議題

1. 統括委員長会報告 (10/18) 統括委員長会議事録にて確認
  - ・統括委員長会への上程事項は事前に戦略企画委員会へ提出する。  
→統括委員長会に上程、又は他の委員会へ提出等、戦略企画委員会で検討する。
  - ・戦略企画委員会の開催は統括委員長会開催日の概ね 2 週間前となった。  
→戦略企画委員会は、原則偶数月第 1 金曜日に開催する事とする事となった。  
検討書の提出は委員会開催 1 週間前を締切りとする。
  - ・上程事項のある委員会は、委員長又は担当副会長が出席する。(統括委員長会議事録)  
→上程事項を戦略企画委員会で検討し、統括委員長会での説明が必要となった場合に委員長 (又は担当副会長) に出席していただく事に訂正する。
2. 委員会運営について
  - 1) 同好会活動
    - ・担当が近藤委員と長友委員 (副) に決まった。
    - ・規程、フロー等を作成する。(理事会に諮る)
  - 2) 会則等見直しについて
    - ・担当が村松委員に決まった。
    - ・現在の定款施行細則等の問題点をまとめる。
    - ・2 月 (又は 8 月) の戦略企画委員会で検討し、統括委員長会又は総財務委員会に提出する。
  - 3) 活動報告作成について
    - ・担当が小山副委員長と相原委員 (副) に決まった。
    - ・理事会、統括委員長会に提出する報告書を作成する。
3. 令和 2 年度予算要求案について  
直接事業は行わない委員会なので事業費の要求は無しとし、会議費 (交通費) 6 回+臨時 2 回のみの要求とし、総財務委員会に提出したとの報告があった。
4. 検討依頼について
  - 1) マンション等の大規模修繕業務特別委員会
    - (1) 特別委員会として、特別会計化を検討いただきたい。  
→ (検討結果) スケジュールに基づき、総財務委員会へ提出していただく。
    - (2) 不適切コンサルタントに対する対処について  
→ (検討結果) 委員会内の登録規程で対応していただく。  
統括委員長会に上程するのであれば、具体的な方法を提出していただく。
    - (3) 各委員会の垣根を超えた、様々な見学会の定期開催 (賛助会物件を含む)  
→ (検討結果) 企画案を提出していただく。

2) 「住・緑・家」運営特別委員会

- (1) 「住・緑・家」での対応がマッチする案件に関する情報を、随時各支部から頂きたい。
- (2) 現在横浜市で展開しているような、各町内会、自治会向けの DM 送付を、神奈川県内の他地域で展開してもよろしいですか。  
→ (検討結果) 具体案を挙げ、ブロック支部委員会と協議し進めていただく。
- (3) 特別委員会としての特別会計化の可能性を伺いたい。  
→ (検討結果) スケジュールに基づき、総財務委員会へ提出していただく。

3) 検討結果について

委員会検討依頼書の検討結果に記載した(案)を事務局にて作成し、メーリングにて確認後、委員会に返答する。  
また、総財務委員会にも報告する。

次回委員会 令和2年2月7日(金) 15:00 ~ 17:00 神事協会議室

委員会開催 原則 偶数月第1金曜日

以上

開催日時	令和 2 年 2 月 7 日 (金)	会 場	(一社) 神奈川県建築士事務所協会会議室
------	--------------------	-----	----------------------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○村松健児 ○長友寛昌 ×三輪数比古
	委員：×近藤敦司 ×矢野高 ×相原聡 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

## 議題

## 1) 統括委員長会報告 (12/20)

議事録にて、12月20日に開催された統括委員長会の内容を確認した。

## 2) 委員会運営について

## (1) 同好会活動

## ① スケジュール

- ・運用規則(案)・フローを2月中に長友委員が作成し、各委員にメーリング流し、加筆修正等を行い3月の理事会(3/27)に提出する。
- ・事務手続書類等(案)を5月の理事会(5/20)に提出する。

## ② 内容について

- ・定款第5条九(会員建築士事務所及び所属する建築士等の福利厚生の上昇に資する事業)によって同好会活動を行う。
- ・スポーツ・趣味等だけではなく、勉強会についても同好会とする。
- ・HPや会員メーリング等で活動を神事協で周知する。
- ・神事協からの補助金はなし。

## (2) 会則等見直し

村松委員が作成しメーリングにて送付済の会則見直し(案)をもとに、重点や修正する優先順位が高いもの、又不明点のポイントをA4 1枚程度にまとめ、3月の理事会(3/27)に提出する。(担当:村松委員)

## 3) 検討依頼について

## (1) ブロック支部委員会より

改訂版「建築士事務所の実務」を統括委員長会にてご確認頂きたい。  
→統括委員長会(2/21)にて、改訂版の内容の説明を行っていただく。

## (2) 会長より

## ① 令和2年度 会員増強目標の設定

→総財務委員会と協議してください。

## ② 会員増強活動の内容提案、策定等(重点施策)

## ③ 退会防止施策

→同好会発足

会員の年齢層を把握する(データ化)

統括委員長会で各委員会がどのような活動をしているか確認する

## 4) 委員会開催日について

偶数月第1金曜日に開催する事となっているが、6月は総会と重なるため、5月26日(火)に開催することとなった。

次回委員会 令和2年4月3日(金) 15:00 ~ 神事協会議室

以上

開催日時	令和 2 年 5 月 26 日 (火)	会 場	Web 会議
------	---------------------	-----	--------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○長友寛昌 ×三輪数比古 ○近藤敦司 ○矢野高 ○相原聡 ○佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

#### 前回議事録確認

前回 (2/7) の委員会では、同好会運用規則 (案) ・フローを 3 月の理事会に提出する事となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で時期尚早とし、提出時期を今後検討する事とした。

#### 報告

横浜支部の村松委員が退会の為、委員を辞任された。後任を推薦するよう横浜支部には依頼済との報告が委員長よりあった。

#### 議題

##### 1) 統括委員長会報告 (4/24)

議事録にて、4 月 24 日 (web 会議) に開催された統括委員長会の内容を確認した。

##### 2) 検討依頼について

###### (1) 災害時に行政より要請があった際の神事協としての体制の確立 (指導委員会)

(意見等)

- ・行政からの要請によってすべき事も変わってくる為、事前の体制作りは難しい。
- ・台風が来る前に実施してほしい研修会だが、現段階ではコロナウイルスの影響で次回統括委員長会が開かれる予定がたっていない為、提出先がない。
- ・風水害に絞り込まない全ての災害を含む体制作りとなると、行政・関係団体も含めて神事協が主導となり動かななくてはならないが、現段階では難しい。  
建築会議 (事務所協会・建築士会・建築家協会) で災害時の体制作りを検討はしている。  
応急危険度判定は県の主導により、事務所協会・神事協・まち協の 3 会で参集方法等検討している。
- ・全体の体制作りと研修会は必ずしもリンクするものではない為、研修会は実施するべき。

(検討結果)

統括委員長会 (4/24) で検討した通り、エリア・名簿等の作成方法等をブロック支部委員会と指導委員会で検討し、両委員会で適宜研修会を開催する方向で動いてください。

###### (2) 神事協 HP トップページから「建築物等調査・鑑定登録事務所」への検索方法について (指導委員会)

(意見等)

- ・『一般の方へ』は 8 項目になっているが、確認すると似た内容の項目もある。掲載方法・内容について、検討する必要があるのでは。
- ・HP 改訂するだけの費用対効果があるのか分析が必要ではないか。
- ・8 項目のアクセス数の確認をし、必要とされていない項目を再検討する必要があるのでは。  
→HP 作成時にアクセスカウンタが埋め込まれていない為、アクセス数の確認はできない。
- ・一般の方からの問い合わせに対し、「建築物等調査・鑑定登録事務所」名簿を紹介する事が建築士事務所登録関係以外では一番多いと事務局より報告があった。
- ・HP 全体の構成から検討しなければならないが、現段階では HP を主導 (担当) する委員会がない為、即対応することは難しい。次回統括委員長会へ HP を担当する委員会を決めるよう提案する。
- ・HP の上部『インフォメーション』部分より名簿にリンクし常時掲載する事は可能。
- ・会報の web 化も検討されている。(会員の年齢層も考慮する必要がある)

(検討結果)

HP 全体の構成を検討しなければならないが、現段階では HP を担当する委員会がないため、次回統括委員長会へ HP を担当する委員会を決めるよう提案します。

現段階では、HP 上部『インフォメーション』部分より名簿にリンクし常時掲載する方法で検討してください。

(3) 神事協<sup>㊟</sup>資料閲覧システムの構築の依頼

(意見等)

HP 上に作成する事になるので、HP を改訂する際の検討項目となる。

(検討結果)

HP を担当する委員会に検討していただく事とします。

3) 会員増強、退会防止に係る対策等について検討（正副会長会より依頼）

各支部あてに実施された会員増強にかかわるアンケート結果をもとに、会員増強・退会防止に係る対策について検討した。

(意見等)

- ・長く会員である人に、神事協のどこに魅力があるのかを聞いてみる必要があるのでは。
- ・一度退会した人に復会してもらう事も検討するべきでは。（退会した理由を聞き取る）
- ・懇親会（飲み会）等に魅力を感じない世代が増えてきている。
- ・会員年代別では、現在 65～69 歳が一番多い。10 年後の事を考え、対策を考えるべき。
- ・若い世代を取り込むには web を活用する必要があるのでは。

今回の意見・アンケート結果をもとに各自検討し、次回委員会議題にする事となった。

次回委員会 令和 2 年 8 月 7 日（金）

以上

開催日時	令和 2 年 8 月 7 日 (金)	会 場	Web 会議
------	--------------------	-----	--------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○長友寛昌 ×三輪数比古 ×近藤敦司 ○矢野高 ○相原聡 ×佐藤眞吾
事務局：○小林恵美	

前回議事録確認

山口副会長挨拶

#### 議題

##### 1) 統括委員長会報告 (6/19)

- ・災害時相談員育成の講習会を開催する為、指導委員長・ブロック支部委員長・業務支援委員長で検討し、具体的に進めていく事となった。
- ・6/19 の時点では、地引網・スポーツ大会はやる方向で進んでいたが、今年の神事協の行事は中止となったとの報告があった。

##### 2) 次回統括委員長会 (8/21) 運営について

各委員会から検討事項が提出されていない為、議題がない。

##### 3) 退会防止対策・会員増強について

各支部から提出された『会員増強、退会防止に係る対策事例等についてアンケート (生データまとめ)』を基に検討し下記の意見が出た。

- ・川崎支部では、市からの業務がある事や、建築士会との交流・8 士業交流会の勧誘を行っている。
- ・横須賀支部では、FM で毎週日曜日に 15 分、相談業務の内容を視聴者からの質問とし、放送する事となった。(パーソナリティーの企画として行うので、料金はかからない)  
他の支部でもできればよいのでは。横のつながりで面白い事ができていくのでは。まずは横須賀支部で始めて広めていければよいと支部としては考えている。
- ・大和綾瀬支部の主な活動は、仕事展で 200 人程の来場者があるため、活動の PR を引き続き行っていきたい。今年度は web での開催を考えている。
- ・藤沢支部では主な入会の促進は仕事展。また、新たな試みとして一つの物件を支部会員でチームを作り設計から施工まで行った。
- ・横浜では、業務受注を行う“はま建”がある。神事協との違いを知らない人が半分くらいいるのではないか。その点で、勧誘方法が他の支部と違う。
- ・横須賀支部より意見があった、会費徴収を本会が行うとの事は、支部長会で意見を吸い上げて、総財務委員会で検討している。

⇒入会したら収入がある・節約 (建築賠償責任保険等) できる事がメリットとなるが、戦略企画委員会で何が出来るか次回委員会までに各自検討する事となった。また、思いついた時点で戦略企画メーリングにて送付する事となった。

##### 4) DXWG について

後程 (8/7) 開催される DX 統括 WG に戦略企画委員会より提出する内容について確認した。

- ①集金システムについて (総財務委員会検討中)
- ②配信システムについて
- ③講習会 (長期優良住宅・低炭素・応急仮設住宅) の web 化。(直近の法令に属したものにする必要はある。)
- ④ツイッターで、日替わりで理事がつぶやく。(30 人理事がいるので毎日更新する。)  
→・強制的にやらせるためには、理事として義務が発生する告知が必要。
  - ・HP にリンクも行いたい。
  - ・神事協版のウィキペディアを作成し、リンクできるようにしていきたい。
  - ・会社で行っているが、内容チェックを厳しくやっている。(宗教・政治・個人情報 NG)

その点が大変。最初は盛り上がるが、話題がなくなってしまう。

- ・ルールを決める事が必要。（白川委員より提出していただく）
- ・ルールを決めても、守り切れるかが心配。全員で始めるのは難しいのでは。
- ・ビジネスアカウントでやる方がよい。

⑤同好会活動を具体的に進める。

⑥同好会立ち上げ支援サイト

⑦神事協のキャラクター（事務局子ちゃん）を作り、講習会等の案内はキャラクターが行う。

⑧facebook はコンセンサスの面で難があると言われている

⑨Instagramはパソコンから更新できないので管理上問題がある。

大和田副会長より挨拶

次回委員会 令和2年10月2日（金）15:00～web会議

以上

開催日時	令和 2 年 10 月 2 日 (金)	会 場	Web 会議
------	---------------------	-----	--------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：×白川幹 ○長友寛昌 ×三輪数比古 ○近藤敦司 ○矢野高 ×相原聰 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

山口副会長挨拶

前回議事録確認

- ・退会防止・会員増強について、意見等を戦略企画引き続きメーリングに送付する事となった。

議題

1) 統括委員長会報告

- ・今年事業が出来ないので会の収入も少ない。  
活動もできない状況なので新入会員も少ないが、廃業等による退会も多い。
  - ・講習会受講料を無料にできないかとの要望があったが、有料とする事となった。
  - ・来年以降も動きが活発化するとは考えにくいので、今後について検討していかないと会としての存続が危ぶまれるのではないか。
- ⇒戦略企画委員会としての動きが非常に重要となってく。(鈴木委員長)

- ・ツイッターについては、統括委員長会のメンバーで始める事となった。

2) 同好会設立について

(1) 湘南芝刈倶楽部設立届

届出者の大和田副会長より説明があり、内容について確認した。  
→次回の統括委員長会にフロー図(案)とともに提出・審議する事となった。

(2) 今後の同好会設立について

フロー図(案)及び規約ひな形に沿って設立届を作成したが、非常に大変な作業だった。同好会活動を広げていくためには簡素化する事も必要なのではないか。  
→簡便化するフロー図(案)・規約ひな形(案)を作成する事となった。  
(担当：近藤委員、長友委員)

(3) 将来の考え方

- ・HPより入力し承認・設立の流れとしたい。
- ・神事協より保険等にあてるための補助金を出す事としたい。

3) 令和3年度予算・事業計画について

予算について、前年度と同様、何回かリアルで開催する会議費(交通費)の支出のみで提出する事となった。

4) DXについて

- ・現在トライアル状態で進めている状態。トライアルの結果を理事会に提出し本格的に進めていく事となる。  
トライアル企画としては、会報のデジタル化(会報に動画URLを掲載等)・課金システム・入会システムを進めている。
- ・戦略企画委員会としては、色々な意見を出し次の展開の準備を進めていきたい。(神事協に活かせる事等、世の中の動きにアンテナを張っておく等。)

大和田副会長より挨拶

次回委員会 令和2年12月4日(金) 15:00 ~ web 会議

以上

開催日時	令和 2 年 12 月 4 日 (金)	会 場	Web 会議
------	---------------------	-----	--------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：○大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○長友寛昌 ×三輪数比古 ×近藤敦司 ○矢野高 ×相原聡 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

大和田副会長 挨拶

## 議題

### 1) 技術専門委員会より検討依頼

<検討依頼内容>

法律改正に伴い改正内容・補助金関係の講習会等を行う委員会の設置を次年度に向けて検討していただきたい。

<検討結果>

次年度に向けての委員会の在り方を検討するよう次回統括委員長会 (12/18) へ提出する。(資料なし)

### 2) 同好会フローについて

<意見等>

- ・許可を認定にする。(統括委員長会決定)
- ・設立届、設立趣意書、概要、名簿 を提出でよいのでは。会則は必要ないのではないか。
- ・会則の代わりに、名称・事務所(連絡先)・目的・活動内容・会員種別を記載、あとはチェックリスト(項目)にチェックする形にする。(その他は特記とする。)
- ・収支報告書は補助金等がない以上、必要ないのではないか。  
→トラブル防止のために収支報告書は必要なのではないか。  
お金の管理はそれぞれの会でしっかりしてくださいと設立認定書又はチェックリストに記載する。  
作成は必要だが、神事協に提出の必要はないのではないか。  
それぞれの会の運営方法によって収支を出す必要か否かが違って来る為、個々に考えていく必要があるのでは。
- ・会員数は3名以上とする。
- ・神事協の名前を使用し、反社会的活動・政治的活動等、目的外活動が行われた時の対応も考えていかなければならない。
- ・廃止→認定解除とする。

⇒上記の意見等を含め、修正したフロー及びチェックリスト(会則)を戦略企画メーリングリストで送付し、加筆修正等意見を求める事となった。

その後、次回統括委員長会(12/18)に提出する。(担当:長友委員、近藤委員)

### 3) 10/21 開催統括委員長会報告

議事録により報告がされた。

### 4) web 使用ツールについて

各委員会より提出された情報を確認し検討された。

神事協としてどのツールを使っていくのか方向性を決めるとの意見があったが、場面の特性にあったツールを使っていくのが良いのではないかと、どれが安全とは言い切れないのではとの意見が出た。

⇒統括委員長会(12/18)には、各委員会より提出された情報を資料として提出する

現況では zoom が多い。Zoom 使用の際には最新版を使用し安全性に留意する事、また場面の特性にあったツールを使用するよう戦略企画委員会からは提案する。

5) DXについて

神事協をDX化する事により経費節減となる事を周知していく必要。

ツイッターはできればリツイート・いいねをしてほしいとの話があった。

→周知をしているが、ツイッターをしている人が少ないので、なかなか広がらない。

今後は誰がツイートしているが暗号（イニシャル等）を付けた方がよい。

6) 支部役員会等の開催方法について

使用ツール・カメラマイク等・やり方等を支部間で共有出来ればよいとの意見があった。

次回委員会 令和3年2月5日（金）15:00～ web会議

以上

開催日時	令和 3 年 2 月 5 日 (金)	会 場	Web 会議
------	--------------------	-----	--------

出席者 (×欠席)	担当副会長：○山口英生 (補佐)副会長：×大和田優
	委員長：○鈴木武昭
	副委員長：○小山美智恵
	委員：○白川幹 ○長友寛昌 ×三輪数比古 ○近藤敦司 ○矢野高 ×相原聰 ×佐藤眞吾
	事務局：○小林恵美

## 議題

## 1) 統括委員長会報告 (12/18)

- ・統括委員長会より提出した『同好会運用規則 (案) の第 2 条 3 項を『「同好会設立届」は、統括委員長会が認定し理事会へ報告する。』と修正し、次回理事会へ諮る事となった。  
→1 月 15 日の理事会に諮り、承認されたとの報告があった。

## 2) 次期委員会のあり方について

戦略企画委員会は今期から始まったが、アウトプットがあまり出来ていない状態。  
来期以降に戦略企画委員会として何をすべきか・何ができるのか等の意見を交わした。

## &lt;意見等&gt;

- ・web 会議に関して、便利に使えている。何度か会っているメンバーとの会議だと話しやすい。
- ・戦略企画委員会としては、DX を進めていく委員会となっていくのではないかな。  
広報のデジタル化を戦略企画委員会で担っていく方向となってくるのではないかな。
- ・web 講習会だと、受講するか迷う講習会でも、取りあえず受講しようとする人が多い。
- ・戦略企画委員会の動きが見えづらいと言われている。Web 講習会等、利用する人が増えてきており、その便利な事が DX だと打ち出すべき。
- ・神事協主催の講習会の申込の約 7 割が web での申込みとなっている。
- ・定期講習の受講者を増やすために、会員の受講歴を入手し、受講すべき年度にメールでお知らせが行くようなシステムを構築できないか。  
→現在は、受講した講習機関からお知らせが届く。神事協が開催する定期講習の主催者である建築技術普及センターでは受講年度の 4 月ごろに封書で案内・申込書が届くが、総合資格では受講するまで受講案内がメールで届く。
- ・新たな事に取り組むより、今やっている事で、デジタル化されていない事をデジタル化していく事がよいのではないかな。
- ・会員増強の為、会員としてのメリット追求していかなければならない。
- ・teams を業務で使い始めた。資料をその都度更新出来たり (ダウンロード・メール受信する必要がない)、議事録等も会議中に参加者が皆で作成できたりし情報共有ができる事で時間短縮にもなっている。今後神事協で、グループチャット機能を使い、業務上の困った事や助言を求めた時に、アドバイスをもらえたりする事ができれば、会員にメリットがあるのではないかな。業務で会員同士が繋がれる事にもなる。
- ・今の人と直接会えない状況で、『クラブハウス』等 web 上で人と交流する同好会を戦略企画委員会で立ち上げるのはどうか。
- ・情報を得る事は有り難い事だとは思いますが、情報を発信するのはかなり大変な事だとは感じる。
- ・戦略企画委員会で teams を使い、使用方法等便利さを周知するのもよいのではないかな。  
→次回戦略企画委員会は teams を使用し開催する事とする。(委員長が teams を主催 (ホスト) する)
- ・『teams』『Google』等どれがいいかわからない。今後もいろいろ便利な機能が追加されていくと思うので、その都度変わってくると思う。
- ・利益をあげる事を考えていかなければならないが、DX で利益をあげる事はなにかないかな。  
→会社の DX で利益をあげる事は労務費の削減が主。神事協を DX 化で利益を得る事は難しいのではないかな。  
アナログすぎて困っていることをデジタル化するのが神事協として出来る DX なのではないかな。  
→DX で経費節減等 (事務局経費削減) が考えられる。
- ・神事協をアピール (発信) する事で、神事協全体の知名度等をアップし、数年後に社会的地位を確立する事が出来ると考える。発信する方法は色々あり簡単に出来ると思うが、発信する内容を検討しなければならぬのではないかな。

- ・会員の作品をオンラインの背景（壁紙）等に使えるようにする事もいいのではないか。  
→会報 kanagawa の会員作品紹介の写真を使うのはどうか。
- ・戦略企画委員会として、統括委員長会に上程する前に委員会で検討・整理する事等で一定の成果はあげたと思う。また、今後はそれを前提として統括委員長会や他委員会に臨む事で合理化でき、戦略企画委員会の成果となると考える。

山口副会長 挨拶

神事協（業界団体）は、生業を続けていくために、自分自身を守る為、又社会的地位を確保する為に活動を行っている団体として自覚を持って参加していく事が大事なのではないか。

次回委員会

4月上旬 調整さんで調整し『teams』で開催